



子ども支援者養成講座『オンライン版』

2021 年度子ども支援者養成講座のビデオを web 配信します。

リアル講座にはお越し頂けなかった方にも、好きな時間に好きな所で受講することができます。

ぜひこの機会に子どもの権利を柱とした各講座をご受講ください。

お申し込みは各地域のチャイルドライン団体またはホームページよりお願いします。

尚、受講いただく場合は、光回線以上のネット環境が必要です。環境が不十分ですと、受信できない場合もあります。ご了承くださいますよう、お願いいたします。

<参加費> 1講座 1,500円
5講座以上 7,000円



※お申込みいただいた方には、参加費の振込口座をご案内します。

お振込みの確認ができましたら資料・ID・パスワードを郵送させていただきます。



★2021年8月16日(月) web 配信スタート

講座	内容	講師名(敬称略)
①	子どもたちに性の問題を正しく伝えるために	金丸産婦人科 院長 金丸 恵子
②	チャイルドラインとは	NPO法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク 代表理事 田部 眞樹子
③	依存症からの回復とエンパワーメント	(特)三重ダルク 常務理事 市川 岳仁
④	いじめ・不登校	NPO 法人ストップいじめ!ナビ 副代表理事 須永 祐慈
⑤	子どもからみたネットメディア	NPO 法人ストップいじめ!ナビ 副代表理事 須永 祐慈
⑥	子ども支援のまちを創ろう ーチャイルドライン活動に子どもの権利条約を活かす	早稲田大学 名誉教授 子どもの権利条約ネットワーク 代表 喜多 明人
⑦	子どもにはチカラがある ～子どものエンパワーメントを支えるおとなの役割～	子どもの権利条約総合研究所関西事務所 所長 浜田 進士
⑧	思春期外来の現場から	奈良県立医科大学 名誉教授 医療法人南風会万葉クリニック 子どものこころセンター絆センター長 飯田 順三

主催：NPO 法人チャイルドヘルプラインMIE ネットワーク サポート：子どもの心を受け止めるネットワークみえ



★★ご注意★★ ご案内の講座はあくまでも子ども支援者の方々の研修として利用いただけるものです。上記すべての講座を受講されても、チャイルドラインの受け手になることはできませんので、ご留意ください。受け手ご希望の方は、来年度開催のリアル講座を受講してください。

★受講お申し込みは、HP(右QRコード)からお願いいたします →



【お問い合わせ先】



NPO 法人チャイルドヘルプラインMIE ネットワーク(認定NPO 法人)

〒514-0125 津市大里窪田町 2709-1 TEL & FAX 059-211-0024

HP: <https://childhelpline mie.net/>

講座内容と講師紹介

① 金丸恵子さん 「子どもたちに性の問題を正しく伝えるために」

講座内容

インターネットなどからの「性」についての間違った歪んだ情報が、子どもたちの手本になってしまっています。性器、妊娠、避妊、性感染症などについて正しい知識を得ることで、自分も他人も大切にできるのではないのでしょうか。

講師紹介

金丸産婦人科院長
三重大学医学部卒。大学院で研修後、国立津病院と鈴鹿回生病院に勤務し、平成8年1月に開業。
10代の月経異常や性トラブルの相談、不妊の初期治療に力を入れている。日々の診療の他、木曜日午後は近隣の中学・高校で性教育講話を実施。平成22年より教育・行政・警察・NPOとの横のつながりを深める活動として「思春期保健指導セミナー」を三重県より三重県産婦人科医会が受託、担当理事としてファシリテートしている。

② 田部眞樹子さん 「チャイルドラインとは」

講座内容

チャイルドラインは、指示しない・指導しない・傾聴する電話です。子どもの気持ちを聴くことは、子どものありのままを受けとめること。子ども自らの力をエンパワーメントし、解決できるように寄り添う「子ども主体」の子ども支援について一緒に考えましょう。

講師紹介

NPO法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク代表理事
(特)三重県子どもNPOサポートセンター理事長
1973年に市民活動に関わってから48年。子ども達が安全で安心して健やかに、全人的に育つ地域社会づくりを目的としてNPO活動を行っている。チャイルドライン、子どもの権利条約づくり、里親支援事業など行政との協働事業を行い、県内8地域の団体正会員とともに多面的に子どもの育ちを支えている。長年のNPO活動が認められ、2007年に地方自治施行60周年記念地方自治功労賞を、2010年に県民功労賞を受賞。

④ 須永祐慈さん 「いじめ・不登校」

講座内容

いじめの現場や学校を休んでいる時、子どもは何を感じ、どう思っているのか、当事者として感じていたことを話していただきます。今、子どもたちの中で何が起きているのか、どのような関係性なのか、様々な調査から見える子どもの姿を学びます

⑤ 須永祐慈さん 「子どもからみたネットメディア」

講座内容

スマホやタブレット、ゲーム機が生まれた時から身の回りにあり、当たり前に使っている子どもたちにとって、その影響は計り知れません。身体的、人間関係において、ネットメディアにより子どもたちに何が起きているのか、一緒に学びましょう。

講師紹介

NPO法人ストップいじめ！ナビ 副代表理事
ブラック校則をなくそう！プロジェクト発起人。自身も小学校4年生からいじめを理由に不登校。東京シューレで育ちシューレ大学で学ぶ。フリースクール、チャイルドライン等との関わりも長い。いじめの実態調査、情報共有のほか、自身の体験をもとに全国各地の学校や行政、市民団体などでの講演活動やメディアでの発信などを行う。

③ 市川岳仁さん 「依存症からの回復とエンパワーメント」

講座内容

依存から回復した自らの経験や、その背景についてお話しいたします。ありのままの自分を認め合える仲間との繋がりや大切さや、支援者として当事者に寄り添いながら、制度や施策にも携わっておられる活動について学びます。

講師紹介

特定非営利活動法人三重ダルク常務理事。当事者性と専門性、経験と科学の狭間を漂流中。「三重ダルク」を主宰する傍ら、ネパールでソーシャルビジネスカフェを運営、2019年にはライブハウス「漂流劇場」オープン。2021年〜志摩「私」研究所の所長。立命館大学大学院人間学研究所博士課程に在籍。名古屋市立大学、京都精華大学、日本福祉大学で講師も務める。共著「ダルクー 回復する依存者たち」(明石書店)
精神保健福祉士、保護司。

⑥ 喜多明人さん 「子ども支援のまちを創ろう —チャイルドライン活動に子どもの権利条約を活かす—」

講座内容

自己肯定感が低いと言われる日本の子どもの実態を、教育をめぐる様々な問題など多角的に話していただきます。子どもの権利条約を基に、子どもの権利、子ども支援のまちづくりについて学びます。

講師紹介

早稲田大学名誉教授、子どもの権利条約総合研究所顧問、学校法人東京シューレ顧問。NPO活動として、子どもの権利条約ネットワーク代表、多様な学び保障法を実現する会共同代表、日本子どもNPOセンター理事、チャイルドライン支援センターアドバイザー、学校安全全国ネットワーク代表などを務める。自治体支援として、子どもの権利条約に関する様々な委員、アドバイザーを歴任。地元東京・目黒ではチャイルドライン東京ネットワーク代表、めぐろチャイルドライン代表などを務める。

⑦ 浜田進士さん 「子どもにはチカラがある ～子どものエンパワーメントを支えるおとなの役割～」

講座内容

子どもにはチカラがあります。このチカラを発揮させるには、何が必要なのでしょう。子どもが必要としているものは、その子に聞いてみないとわかりません。子どもの権利が保障される社会になるために、大人の役割とは？

講師紹介

子どもの権利条約総合研究所関西事務所 所長
子どもの権利条約 関西ネットワーク共同代表、自立支援ホームあらんの家統括施設長。特定非営利活動法人青少年の自立を支える奈良の会理事長。「子どもの権利」をテーマに、日本ユニセフ協会や国際子ども権利センター等、子ども関係の団体で約16年間勤める。元関西学院大学教育学部准教授(専門は子どもの権利擁護・子ども支援論)。現在は、宝塚市などで子ども議会・子ども委員会の運営支援、奈良市・豊中市などで子ども条例策定の支援や関西学院大学・同志社女子大学の非常勤講師も務める。

⑧ 飯田順三さん 「思春期外来の現場から」

講座内容

思春期外来の現場から見える今の子どもたちについてお話しいたします。子どもの発達にそって学び、そのことが思春期にどう影響するか、また発達障害や精神疾患について事例を基に、詳しくお話しいたします。

講師紹介

奈良県立医科大学 名誉教授
医療法人南風会万葉クリニック 子どものこころセンター 総センター長
2021年奈良県立医科大学医学部看護学人間発達学教授を退任、同大学名誉教授に就任。
医学博士、精神保健指定医、精神専門医・指導医、日本児童青年精神医学会認定医・常任理事。著書は「詳解 子どもと思春期の精神医学」「発達障害」「改訂版 注意欠陥多動性障害—ADHD—の診断・治療ガイドライン」「自閉症ガイドブックシリーズ3 思春期編」「心の気がかり相談室 思春期編」など多数。昨夏出版された「ADHD クロストーク」では3人の臨床家が温かな言葉で「ADHD 臨床」について語っています。